

よこはま動物園ズーラシア コウノトリの卵を千葉県野田市 「こうのとりの里」へ移送しました！

よこはま動物園ズーラシアでは、「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル」(※)に参画し、コウノトリの域外保全に取り組んでいますが、今回、計画に基づき当園で産まれた卵を移送しました。

飼育しているコウノトリの産卵が令和4年4月2日(土)に始まり、産まれた4卵を、令和4年5月2日(月)に千葉県野田市「こうのとりの里」へ移送しました。移送した卵は、「こうのとりの里」の放鳥施設で飼育している仮親に託し、野生復帰個体として育てられる予定です。

今回の取り組みは、よこはま動物園ズーラシアでは初めての試みになります。



コウノトリの卵



今回、移送した卵の親鳥

※ コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(略称：IPPM-OWS)

平成25年にコウノトリの保全に取り組む機関や施設で設立されました。日本国内のコウノトリの保全を全国的に進めていくにあたり、参加組織で連携して活動に取り組んでいます。

個体群の維持を目的とした管理計画を策定し、計画に基づいた飼育下での繁殖(域外保全)、野生復帰の取組への支援(域内保全)、普及啓発等の活動を行っています。



横浜市SDGs認証制度



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■コウノトリについて

和名	コウノトリ
英名	Oriental Stork
学名	<i>Ciconia boyciana</i>
分類	コウノトリ目 コウノトリ科
分布	アムール川流域、中国南東部
生態	ヨーロッパなどで繁殖する朱色の嘴をしたシュバシコウの亜種とされてきましたが、大きさや性質などにはかなりの違いがあり、別種として扱われることもあります。この亜種は、シベリア南東部と中国東北部で繁殖し、冬季には中国南東部に渡って越冬します。日本でも 1959 年頃までは繁殖していましたが、現在では冬鳥としてまれに 1 羽から数羽が渡来するにすぎません。1956 年に国の特別天然記念物に指定されて、2005 年には兵庫県立コウノトリの郷公園において、飼育下で繁殖した個体の野生復帰を目指す試験放鳥が開始されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	4 羽 (オス 2 羽、メス 2 羽)
国内飼育頭数	18 施設 182 羽 (オス 88 羽、メス 94 羽) ※令和 3 年 12 月末現在

■よこはま動物園の飼育状況

愛称	性別	年齢	特記事項 (血縁、繁殖歴など)
白藤	メス	24 歳	兵庫県立コウノトリの郷公園生まれ
キコニア・タマコ	メス	19 歳	東京都多摩動物公園生まれ、今回の移送した卵の母親
橙	オス	15 歳	よこはま動物園生まれ
バイキアナ・ハシオ	オス	15 歳	豊橋総合動植物公園生まれ、今回の移送した卵の父親

(年齢は令和 4 年 5 月 1 日現在)

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 12/29~1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。
- ・その他詳細はホームページをご確認ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。